



廣崎 誠治 議員

大池公園住民投票実施は

坪根町長 有権者の1/50以上の連署で可能

問 大池公園周辺開発計画について5月広報、町政懇談会で説明があった第2段階、第3段階に進む場合、住民の理解を得てから行うと説明があったが住民・自治会長などに対し現地説明を行う予定はあるか。

答 永野開発交流推進課長 第1段階で園路整備を、その後第2段階で高速道路連結について準備を行っていく。説明ができる段階において住民の皆さんに理解を得るために現地説明会を含め検討させていただきます。第3段階も同様に行いたい。

問 第3段階の人道橋などの整備について大池は農業用ため池のため干ばつ時・冬季に水が無く景観的に問題があるのではないかと、また臭い臭くないか。

答 永野課長 干ばつ時において取水が必要な場合に水位が下がることがある。冬季については水利委員さんに当て込みをお願いしたいと考えている。臭気については生活排水の流入がないため影響は無いと考えている。

町政懇談会は

問 町政懇談会の4地区での参加人数は。

答 岡崎総務課長 唐原38名、友枝34名、南吉富28名、西吉富28名の128名の参加があった。

問 初めに行った事は良かったと思うが、どういう意図で行ったのか。

答 岡崎課長 上毛町が誕生して10年が経過、さまざまな課題や町民の皆さんの声を伺い、町政運営に役立てることが目的である。

問 19時から20時30分の開催で行政側の説明が1時間10分あり、参加住民の本当の音が聞こえなかったのでは。

答 坪根町長 行政がはじめて行ったこと



▲大池公園整備事業の方針についてのお知らせ

茂呂 孝志 議員

基本構想策定業務契約の落札率は

永野開発交流推進課長 落札率は100%である

問 町の財務規則で随意契約は、契約金額130万円以下、業者2社以上で見積りが必要となる。大池公園基本構想策定業務委託契約（契約金594万円）を、1社だけの随意契約で行った理由と落札率は。

答 永野開発交流推進課長 景観設計、高速道路連結設計、マーケティング理論等が重要。経験、知識など複数の条件を満たしているため、自治法施行令の規定を準用し、随意契約を行った。落札率は、100%である。

問 町長は大池公園整備事業に取り組み、九州一輝く町づくりを目指している。何をもちょう九州一輝く町が実現されたか考えるのか。

答 坪根町長 九州一輝く町づくりは、全ての業務においては、職員に仕事のクオリティーを上げさせることを意識させる目標や、会社の企業理念のようなものである。このことが実現できれば、九州初ということ、九州一とも言える。また、企業と交渉し町にお金が残る事業をすることが九州一輝く町になると考えている。

しながら誘致に努めたい。坪根町長 民間店舗の件は、微妙な折衝を行っているので今後も見守ってほしい。

問 3月議会で町長に質問した住民投票は法律にのっとって請求があった場合行くと答弁があったが地方自治法第74条の規定による住民の直接請求として有権者の50分の1以上の連署があれば条例の制定を請求できるとある。これを想定して答えたのか。

答 坪根町長 そのとおりです。

とは良かったかと思っている。議会も同様に行なった方がいいのでは。問 吉富町は自治会単位で行っている。自治会単位の懇談会の開催を考えたのか。

答 岡崎課長 吉富町は自治会単位で開催しているが築上町は町よりかなり面積が大きく、町内9ヶ所で参加メンバーも同様、時間も90分というスタイルで開催した。今回は築上町スタイルを参考にしたい。

問 参加町民の方から高速道路の騒音について訴えていた防音壁の設置についてどうするのか。

答 福本建設課長 ほかの地域では建設時に防音壁が設置されていたが上毛町ではなぜ設置されなかったのかと質問があった。設置については環境基準などの基準値を超えた場合に設置することになっている。全線開通したに伴い今後、騒音調査を行い、測定値が基準値を超えた場合は西日本高速道路(株)に防音壁設置について協議を進めていく。

問 懇談会は来年、新年度予算作成前にやらないか。

答 坪根町長 大変業務も煩雑の中で各課長も対応している。皆と協議して検討したい。

永野課長 以前の一般質問で町長が「この事業を活用しながら福祉、教育、医療、農業、環境の充実に向け、スピードを上げたいと考えている」と答弁している。雇用に関しては上毛町が単なる通過点とならないように整備することで新たな観光創出、定住人口に繋がり、地域経済の活性化になると考えており、雇用のみを考えた整備計画ではない。

問 事業実施の判断は採算性、維持管理費、費用対効果を調査し、効果があると判断すれば、事業実施となるのか。

全ての小・中学生に給食費の無料化を

問 学校給食法で給食は教育の一環であると明記され、給食が教育の一環なら憲法26条に「義務教育は無償とする」と保障されている。法の精神に照らして給食費を無償化する考えはないか。

経常収支比率の予測は

問 合併算定替えとなる平成33年度の経常収支比率の予測は。



緒方団地付近



町政懇談会

公共施設の改修は

問 熊本地震が起こり、公共施設が避難所としていかに大切か切実に思った。耐震用改修を早急に行うべきでは、熊本では足腰の不自由な高齢者などのトイレが使いづらいと報道があった。本町では対処できているか。

東九州自動車道沿線の騒音防止対策は

問 東九州自動車道の交通量が増え住民の騒音苦情がある。関係する自治体は騒音被害を想定していた上毛町は騒音防止対策の要望をすればいいか。

答 福本建設課長 上毛町も騒音調査を行い、調査結果を受け測定値を超えた場合は、防音壁設置の協議を進めたい。